

# わくわく ドキドキ！！ そうじゃっこだより

令和5年11月①



コロナ禍で自粛をしてきていた異校種（小学校・中学校・高等学校）との交流、本園の教育活動の特色の一つでもあります。マスクを外し、お互いの表情や声を確かめ合いながら本格的に活動が行えるようになりました。

私達大人や教職員とは違う魅力をもった児童・生徒達が来園してくれるのを今か今かと楽しみにしている様子が見られました。初めての3歳児は、知らないお兄さんやお姉さんにドキドキ。いつも以上に担任の先生にくっついてる姿も見られましたが、それでもやさしいお兄さんお姉さん達にいつの間にか遊んでもらって嬉しそうな表情が見られました。

中学生・高校生は、家庭科実習の一環として、「就学前の幼児の発達や育ちを知る」「年齢に即した関わり方を知ったり実践したりする」ことを目的としています。目線を合わせて話しをする、興味や関心を探る、主導するのではなく、一人一人に応じた関わり方をするなどを学びました。

園児にとっては、さわやかに挨拶をしてくれたり優しく関わってくれたりするお兄さんお姉さんに心を開き、受け止めてくれる嬉しさを味わいました。そして、憧れとなり理想のお兄さんお姉さん像を心に留める経験になっています。

## 【総社東中学生との交流】



はじめに『どんぐりマン』を踊って仲良くなりました



お兄さんとコックさんになってごちそうづくり



今度は何の曲を踊りたい？



子ども達の目線に合わせて『どんぐりマン』



届かな、気を付けて！



交流の最後は、『ふりかえり』

スピード感たっぷりのしっぽとり

# わくわく ドキドキ！！ そうじゃっこだより



げんきいっばいげんくん  
にこにこあいさつあいちゃん

令和5年11月②

## 【総社高校生との交流】



「自己紹介」

6月に引き続き、来てくれるのを楽しみにしていました。



一人一人に丁寧に関わってくれる優しいお姉さんが大好き



といを支えながら、真剣そのもの

お姉ちゃん、持っててね!

## 【小学生との交流（5歳児と5年生）】

あと4ヶ月ほどでよいよ5歳児は小学生です。まだまだ幼稚園でたくさん遊んで、友達関係を深め、たくさん経験を重ねてほしいと思っています。一方で、ランドセルが届いたり就学時健康診断を受けたりして、小学校への期待も膨らんで来る頃です。そのような時期に、総社小学校の5年生との交流を計画しています。5歳児が一年生になった時に最高学年になる5年生に親しみをもち顔見知りになることは、心の安定になり、より小学校生活に期待をもつことにつながります。

5年生が練りに練った楽しい遊びや学校クイズを用意して来てくれました。その中には総社幼稚園の卒業生もいて、「懐かしい～」という声や「○○ちゃんのお兄ちゃんだ」という喜びの声がとびかかっていました。5年生のやさしくて、時に面白いことを言ってくれるお兄さんお姉さんに親しみをもつことは、小学校を楽しみに待つ第一歩。5歳児は「また、来てほしいな。」「また、一緒に遊びたい。」という思いを持ちながら交流を終えました。小学校へなめらかに繋がっていく取組は三学期へも続いていきます。



じゃんけん列車



小学校クイズ



運動会のリズム『しまい』を一緒に踊ってくれてうれしい!